

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 267

| | | | | | |
|------|-----------|-----|--------------------|------|-------|
| 所管部局 | 福祉部 | 所管課 | 子育て支援課 | 担当者名 | 高橋 伸夫 |
| 事業名 | 子育て手当支給事業 | | | 事業分類 | ソフト事業 |
| 細事業名 | 子育て手当支給事業 | | | 政策体系 | 112 |
| 会計 | 一般会計 | 科目 | 3.民生 - 2.児童 - 1.児童 | | |

1. 事業の概要

南丹市に居住されている5歳までの児童の保護者に、手当として月額で第1子2,000円、第2子3,000円、第3子以降5,000円を支給する事業。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

出生率が低下する中で、安心して子どもを産み育てることを支援する事業。
出生率の引き上げを目指す。

②事業を実施する必要性

国の児童手当支給事業に、安心して子育てできるように市独自施策として加算し、子育て世代への経済的支援を行う。

3. 事業費の推移

| | | 単位 | 平18決算 | 平19決算 | 平20決算 | 平21決算 | 平22予算 | 平23計画 | 平24計画 |
|-------------------------|----------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 決算額または計画額 | | 千円 | 48,891 | 47,191 | 45,952 | 42,128 | 43,178 | 43,172 | 43,172 |
| うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等 | | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 財源内訳 | 使用料・手数料等 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 国・府支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 千円 | 48,891 | 47,191 | 45,952 | 42,128 | 43,178 | 43,172 | 43,172 |
| 職員等の従事人員 | | 人/年 | — | — | 0.25 | 0.30 | | | |
| 人件費 | | 千円 | — | — | 1,719 | 1,691 | | | |
| 事業費総額 | | 千円 | — | — | 47,671 | 43,819 | | | |

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

| | |
|-------|-------------------|
| 子育て手当 | 41,341,000円 |
| 事務費 | 787,000円（役務費、委託料） |

5. 事業結果の概要

少子高齢化が進み、安心して子育てができる環境づくりが求められている中で、子育て世帯を経済的に支援する取り組みを進めた。延べ13,948人（第1子5,969人、第2子5,246人、第3子以降2,733人）

6. 活動の詳細

| 活 動 内 容 | 活動日又は時期 | 活 動 結 果 等 |
|--|---------|-------------------|
| (1) 受付 | | |
| 出生届時に出産祝金とすこやか手当の支給申請書の提出を受け付ける。転入者には、居住要件3年を経過後に申請書の提出を案内する。 | 年間 | |
| (2) 支給決定 | | |
| 申請書を審査して、支給決定をする。出産祝金、すこやか手当支給認定書を2ヶ月ごとに本庁と各支所で行い、保護者に認定書を交付する。出産祝金はそのときに現金で、すこやか手当は、9月と12月に指定預金口座に振込みをする。 | 年間 | すこやか手当第1子第2子第3子以降 |

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

南丹市の独自施策として展開してきた事業であるが、国の新しい子育て支援制度が充実される中で、子育て手当事業については、支給要件は拡充したものの、支給金額については見直しを実施したが、市全体としての幼児等の増加にはいたっていない。今後も子育て支援条例に基づき、少子化対策に必要な支援事業として、継続していく方向であり、手当等の支給事業だけでなく、総合的な子育て支援、また少子化対策事業の充実、推進を図っていく必要がある。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
事業の内容について、南丹市子育て支援条例と併せて検討を行った。
- ②当該事業のアピール事項
子育て世代を経済的に支援する取り組みを進めた。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
制度の内容について国等の施策を踏まえて検討を進める。